

【半田市】

校務 DX 計画

【現状】

教職員の業務を支援する校務利用の情報化において、半田市では従来から教職員一人一台ノート型コンピュータの整備と、統合型校務支援システムの導入がなされています。

2024年9月から半田市全市の教育ネットワークの更新により、フルクラウドによる統合型校務支援システム利用、ゼロトラストシステムが導入されました。これは文部科学省のセキュリティガイドラインに規定された先進的な事例の実現です。

この整備により、これまで職員室内でしかデータを扱えなかった成績などの個人情報の処理をセキュリティが守られた環境で教室内や校外（パンデミック時の自宅を含む）でできるようになり利便性と効率が高まり、働き方改革に寄与するとともに、きめ細やかな指導につながります。

※統合型校務支援システムとは（教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）、保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系など統合した機能を有しているシステム

【現状の課題と計画の展開】

目標：子どもの意欲を高め、教師の働きがいがある魅力的な教育環境づくりの推進します

①現状の課題と解決の方向性

教員の多忙化解消に向けてさらなる在校等時間の短縮のための取組を進める必要があります。これまでの働き方を見直し、教師が日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになるという、学校における働き方改革の目指す理念を関係者全員が共有し、取組に努力します。

②計画の展開

半田市の掲げる政策「働く親を応援するまち」には学校教職員も含まれます。多忙さが報道される教職員に対しては学校における働き方改革の実現に向けて、東海地方で最先端の校務支援システムを利用し、積極的に活用することで業務改善を図ります。

また、積極的にオンラインによる保護者会をオンライン配信する等、働く親を応援するまちの政策を後押しします。